

## 第164回教育研究評議会議事要録

日 時 平成30年12月10日（月）14時00分から15時22分まで  
場 所 本部棟5階 大会議室  
陪 席 千家監事  
欠 席 者 秋重理事，武田副学長，大谷評議員

### 議 題 1. 高大接続の展開について

荒瀬理事から高大接続の方向性及び島根県教育委員会との連携締結について説明があった。

上園評議員から，パイロットモデル校には，これまで本学と高大接続を行ってきた高校も選択肢に入れていただきたいとの意見があり，荒瀬理事から，島根県教育委員会と進めている中で県内高校を一つ選定し，パイロットモデル校として新しい高大接続を進めていくことを考えているとの回答があった。また，学長から，これまでの高校と行ってきた高大連携については，今後も継続して行っていきたいと考えているが，今回は，高大接続のあり方について，島根県教育委員会と話しを進めている県内高校をパイロットモデル校とし，開発していききたいとの回答があった。

小俣評議員から，高大接続の方向性の具体について質問があり，荒瀬理事から，高校生の来学等により本学の教育や研究を知ってもらい，また，新たな教育の指導法等の開発に関するWGの立ち上げや他大学を例にガイドラインを作成することで本学の体制を整えていききたいとの回答があった。

学長から，学部横断的機能を発揮している姿を高校生に示すことについては，今後特に検討する必要があり，本学の特色の一つである総合大学としての教育について，県内県外にアピールしていかなければならないとの回答があり，原案どおり議決された。

### 報告事項

学長から，報告事項については，「会議の効率的な開催について（申し合わせ）」に基づき特に説明が必要な事項について報告する旨の説明があり，以下について報告があった。

報告事項1「平成29年度に係る業務の実績に関する評価結果について」は学長から，報告があった。

朝田評議員から，保証のない社債で運用することはリスクもあるのではないかとの質問があり，吉田理事から，資金運用については，全体の寄附金の残高を考慮し，これまで国債で運用していたものを，国債の金利が低いため，インフラ企業の無担保社債で運用を行ったものであるが，実際にはかなり保守的な運用を行っているとの回答があった。

報告事項2「公的研究費等の不正使用防止に係る不正使用防止教育（e-ラーニング）の受講状況について」は吉田理事から，報告があった。

報告事項3「平成31年度大学入学センター試験の実施について」は荒瀬理事から，報告があった。

報告事項4「受動喫煙防止対策について」は吉田理事から，報告があった。

出口副学長から、一部の学生が、北門付近の公道で喫煙していることへの対応も検討していただきたいとの意見があり、学長から、敷地内全面禁煙への移行期間内に、学生や教職員に対し喫煙の指導を行う必要があると考えており、指摘のあった事例については、まずは学生委員長会議で対応していただきたいとの回答があった。

報告事項5「平成30年度島根大学における節電計画（冬季）について」は吉田理事から、報告があった。

報告事項6「島根大学支援基金の受入状況について」は藤田理事から、報告があった。

報告事項7「総合理工学部長の任期延長について」は学長から、報告があった。

小俣評議員から、総合理工学部では次期学部長候補者の選考手続きの開始後に、現学部長の任期延長の話があり混乱したため、今後の対応として、部局長選考規則第8条2項に関する手続きについて規則を改正してはどうかとの意見があり、学長から、今回は学部との間で意思の疎通が不十分であったため生じており、今後は、このようなことが起こらないよう規則の改正も含め対応を検討したいとの回答があった。